

## 令和元年度 第1回松江市公共交通利用促進市民会議

1. 日 時 令和元年6月27日(木) 14時00分～16時00分

2. 場 所 松江市市民活動センター (501, 502会議室)

### 3. 出席者

(1)委員 内藤光子、村松利恵、三宅克正、折田昌弘(代理)、佐々木和子、家島滋、近藤達郎、佐々木弘臣、木下正人(代理)、勝部昌幸、飯野公央、浅田純作、秦日出海(代理)、梶谷彰宏、藤原誠、植弘華奈江(代理)、山崎浩、新宮稔、鬼村まり子(代理)、佐々木克典、森原透、大島貴志(代理)

(2)事務局 歴史まちづくり部長 須山敏之

歴史まちづくり部次長(交通政策課長) 比田誠  
(交通政策課)

交通企画係長 佐藤広樹、バス交通係長 石津宏明

交通企画係専門企画員 足立賢一、バス交通係副主任 安部耕太郎

バス交通係副主任 吉原慎弥、副主任行政専門員 中島真砂樹

バス交通係主事 田中雄規

### 4. 内 容

1 開会

2 歴史まちづくり部 須山部長あいさつ

3 飯野会長あいさつ

4 議事

報告事項 (1) 平成30年度松江市の公共交通の現状について

(2) 松江市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

協議事項 (1) 令和元年度の取り組みについて

(2) うちわプロジェクトについて

(3) 令和元年度(第11回)松江市一斉ノーマイカーウィークについて

5 その他

6 閉会

### 5. 会議経過

#### 1. 開会

【比田歴史まちづくり部次長】

本日の会議の開催に先立ちまして、去る4月の人事異動により、事務局職員に変更がありましたので、この場をお借りして紹介したいと思います。

まず、須山敏之が歴史まちづくり部長として着任いたしました。加えて、交通政策課に足立専門企画員、中島副主任行政専門員、吉原副主任を迎えております。あわせて、私、比田が歴史まちづくり部次長を拝命し、交通政策課長を兼ねることとなりました。引き続きよろしく願いいたします。

また、委員の皆様におきましても異動等により3名の方が変更となっております。新しい委員の皆様ですが、日ノ丸自動車の船越米子支店長様、本日は欠席でございます。続いて島根県松江県土整備事務所、維持管理部長の佐々木様、松江警察署から交通第一課長の小川様、本日は代理で大島様に出席いただいています。

それでは、本会の開会にあたり、須山歴史まちづくり部長よりごあいさつを申し上げます。

## 2. 歴史まちづくり部 須山部長あいさつ

### 【須山歴史まちづくり部長】

本日お集まりいただきました皆様には、お忙しいところまた、梅雨に入りし足元の悪い中、お出かけいただきましてありがとうございます。昨年に引き続き松江市公共交通利用促進市民会議の委員として、公共交通の利用促進のためにご協力賜ります。お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成29年3月には、この会議において地域公共交通の現状や課題・問題点の整理を踏まえて、公共交通ネットワークのあり方について議論いただき「松江市地域公共交通網形成計画」を策定しています。

本日の議題にもありますが、本年度は、バス事業者様が「バスロケーションシステム」を導入されることに加え、圏域市長会の事業として、交通系ICカードの導入に係る調査研究を行うこととなり、具体的な事業の進展が見込まれるところです。これにより市民や観光客の利便性の向上が図れることと期待しているところです。また、昨年度のこの会議の事業として、松江高専・島根大学の学生が作成した、「バスの紙芝居」の上演により、バスの乗り方や乗車マナーについて啓発を行っていただきました。

乗車マナーについては人により受け止め方が異なることもあり、利用者・事業者の代表が集う市民会議から松江市の乗車マナーのあり方についてご検討いただき、積極的な発信をいただくことで、利用者・事業者がお互いに気持ちよくバスを利用するとともに路線バスに興味を持ってもらうきっかけづくりになればと考えています。

また、路線バスの利用者は、後ほどの報告にもありますが、昨年度は対前年比で減少をしており、ここ5年の推移でも横ばいで伸び悩みの傾向を示しています。加えて、運転手不足にも劇的に状況が改善するような見込みはなく、「都市の骨格」に位置付けられる「公共交通」をめぐる現状は一段と厳しさを増していると考えています。こうした現状に対し、これまでも、この会議を中心に「松江市一斉ノーマイカーウィーク」をはじめ「とってもお得バス利用事業」や「走行環境、待合環境の改善」を実施するなど、市民の皆様のご協力により、継続的に実践してまいりました。

先般6月議会も開会いたしました。このところ全国的に高齢者の運転事故が続いております。そのことから高齢者の免許返納について現状はどうか、返納後の対策はどうか、この問題に関連し、公共交通について周辺部や高台の団地対策などの移動手段がどうなるのか、といった関係の質問を多くいただきました。一方で最近の動きから新幹線についての質問もあったところです。

人口減少は止まらない状況にあります。そうすると乗車する人も減少、運転手の成りてもないということでの先どうなるのか、公共交通の存続自体も危ぶまれます。AIによる自動運転技術も急がれますが、もう一方では市民の皆さんの協力も重要となってきます。今まさに先を見越して真剣に考えるときに来ていると思っています。

松江市としても、10年後を見据え、公共交通を維持・存続させるための具体的で持続可能な方策や今後のあり方について、考え方をまとめていきたいので、委員の皆様のご意見を賜りますようお願いいたします。

#### 【比田歴史まちづくり部次長】

議事に先立ちまして、本日使用する会議資料の確認をお願いします。委員の皆様には事前に送付させていただきました資料をご持参いただいておりますでしょうか。会議次第、会議資料でございます。それとは別に、委員名簿と席次表を配布しております。資料の不足はありませんでしょうか？不足がありましたらお知らせ願います。本日出席予定であった硯谷委員から欠席の連絡を受けております。また、眞田委員におきましても都合により欠席のため、秦様が代理出席となっております。

本日の会議の出席状況でございます。過半数以上の委員にご出席いただいておりますので、設置要綱第8条第2項に定める定足数を満たしておりますことをご報告いたします。それでは飯野会長よりご挨拶をいただいた後、議事進行をお願いいたします。飯野会長、よろしくをお願いいたします。

### 3. 飯野会長あいさつ

#### 【飯野会長】

皆様お忙しいところ出席いただきありがとうございます。先ほど須山部長にあいさついただきましたが、私は3月に栃木県鹿沼市に行ってきました。そこでは高齢者の免許返納におきまして、市運行バスの「終身無料乗車券」を、昨年12月から自主返納者の配偶者にも交付されています。松江市では7月をもって免許返納者への特典を廃止するというところで、3月には決まっていたということですが、大変タイミングが悪かったと思うところです。公共交通は市民にとって不可欠です。住民の生活を守っていくということを市民に分かってもらうため、お金の問題よりも走らせるものは走らせなければならない。

社会的価値を重要視しようということで、鹿沼市では市長の鶴の一声でこの制度が決まったそうです。安心してこの町で暮らせるといった市民の声が寄せられているそうです。市役所で担当されているのは課長と職員1名であり、実際1名の職員が対応されているそうです。人口が少ない市だからできたことだと思いますが、その辺は見習うべきことなのかなと思います。松江ではこのような市民会議の場があります。皆さんからいろいろな意見をいただき一緒に公共交通を支えていきたいと考えます。本日はよろしくをお願いいたします。

### 4. 議事

#### 公開・非公開について

#### 【飯野会長】

まず初めに、本会議の公開・非公開について伺います。事務局において、本日の会議で非公開とすべき案件等がありますか。

【比田歴史まちづくり部次長】

特にございませぬ。

【飯野会長】

では、松江市情報公開条例並びに松江市公共交通利用促進市民会議設置要綱第8条第4項の規定に基づき、公開により行いたいと思ひますが、異議はございませぬか。(異議なしの声) ご意義ありませぬでしたので、この会議は公開により行ひます。

#### 報告事項(1)松江市の公共交通の現状について

【飯野会長】

それでは「報告事項(1)平成30年度松江市の公共交通の現状について」を議題といたします。事務局より報告をお願いします。

【石津バス交通係長・佐藤交通企画係長】

松江市の公共交通の現状について資料1を基に説明。

【飯野会長】

事務局から松江市の公共交通の現状についての説明がありましたが、皆さんからご質問やご意見があればお願いします。私から質問ですが、交通局の合庁～川津・平成NT線が大きく減少してはいますが、理由はわかりますか。

【石津バス交通係長】

詳細は聞いておりませぬが、1運行当たりの利用者数が1人減となつてはいますので、ヘビーユーザーの方が乗車しなくなつたのではないかとおもわれます。また、運行回数も若干減つてはいますので、曜日のかみ合わせの関係も影響したのではないかとおもひます。交通局さんいかがでしょう

【藤原委員】

循環線などの他路線に替えられるなど、かみ合わせにより多少前後すると思ひます。あじさい線は逆に増えてはいますので、そのようなことが影響したのではと思ひます。

【飯野会長】

松江の場合はヘビーユーザーが何人かいらっしやつて、この方たちによる影響もあるかもしれませぬ。乗車人数が減つたり増えたりするわけですが、何が原因なのか考える姿勢が必要だと思ひます。

#### 報告事項(2)松江市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

【飯野会長】

それでは続いて、「報告事項(2)松江市地域公共交通網形成計画の進捗状況について」、事務局から報告をお願いします。

**【石津バス交通係長】**

松江市地域公共交通網形成計画の進捗状況について資料2を基に説明。

**【飯野会長】**

事務局から松江市地域公共交通網形成計画の進捗状況についての説明がありましたが、皆さんからご質問やご意見があればお願いします。バス事業者さんにお伺いしますが、運転者不足の現状と、その対応方法、その対応に対する反応、今後の人手不足にどのように対応をしていくのか、わかる範囲で教えてください。

**【藤原委員】**

乗務員不足は深刻となっています。日々の路線バスを回すのが目一杯という状況です。募集もしているわけですがなかなか難しいです。定年60歳が69歳くらいまで伸びたということで今まではよかったのですが、その方たちが今度は辞められるようになってきました。土日の運行や夜遅いということで若者から敬遠されることもあります。色々なところで募集をかけています。平田自動車教習所にもお願いして募集もかけていますが、県外のバス会社も同様な状況にあり、取り合いになるようなこともあります。浜田のほうでもJRの広島便の減便が先日報道されたところでもありますし、米子のほうも厳しい状況にあります。以前運転手をされていて子育てが終わった人に対して声を掛けたりしていますが、すぐに確保できる状況にはない状況です。

**【梶谷委員】**

一畑バスでは免許をお持ちでない方を採用して平田教習所で免許を取っていただき、運転手として業務していただく制度設けています。教習費用についても当社で負担しておりますが、中々なり手がいない状況です。バス事業は拘束時間が長いということも要因だと思います。その辺についても改善策を現在検討しているところです。

**【飯野会長】**

ドライバーの平均年齢も年々高くなり、今の路線を維持するのは5年後には不可能になると感じています。利用者を増やす問題より、どこの路線を減らしていくかなど、大変危機的な状況にある。これに対して国も手をこまねいている訳ではないと思うのですが、運転手を増やす具体策が取られていない状況です。行政も含めドライバーの養成を考えることが急務となっています。

原発の避難計画で住民はバスを利用するわけですが、これも難しくなってきます。車両はありますが、運転手がいないことから避難できなくなります。現在、路線バスが維持できているということはいろんな意味で大事なことだと思います。根底が崩れてきている状況を認識し、対応することが求められていると思います。国の方が難しければ県の方からでも声を上げていくことが必要だと思います。

**【比田歴史まちづくり部次長】**

本市だけで解決できる問題でなく国家的に解決する課題だと考えます。島根県市長会を通じまし

て国に要望書を提出しています。一つは大型2種免許の取得要件の緩和措置、もう一つは免許取得にかかる多額の費用に対する低廉化制度の創設です。このようなことを柱とし運転者不足の解決に向け要望を上げているところです。

#### 【飯野会長】

私もこの夏に大型免許を取得しようと思い、パンフレットを見ましたが取るだけで35万円位かかります。その後2種となると10万円となります。それだけのコストをかけて就職した場合、どれだけの収入があるかといいますと、全労働者の平均賃金より低い、命を預かってそれだけの対価では誰もやらなくなります。車内事故を起こせば減給ということも生じます。そういうことを変えていくことが喫緊の課題であると思います。

#### 【佐々木弘委員】

実際に現場はぎりぎりまで回されているのが実態だと思います。一人でも病欠が出れば路線バスが走れず、欠便せざるを得ない状況です。ぎりぎりの人数で路線バスを維持しているのが実態です。先ほどもありましたが、今の人員体制で今のダイヤを維持することは5年でも無理だと感じています。そうならないように労働組合としても、事業者側と労働条件の改善や働き方改革などの話をしています。

また、定年が延長になることで、元気なうちは正社員としてしっかり働いていただきたいと思っています。組合も事業者団体も国に対して、先ほど話にあったような免許取得要件の緩和や取得費用の低廉化に関する要望を出しています。これも対症療法についての話で運転手不足が大きく改善するとは思っておりません。その職種につきたいという、魅力化に向けた取り組みも考えていかねばなりません。そういう意味でも、この計画にあるように運行体制の見直し、平成19年に大きな住み分けがされていますけど、その後大きな見直しもされていません。全体的な運行の仕方、ダイヤの調整など5年後とは言わず、早期に検討する必要があります。

一点要望ですが、隠岐汽船の境港から七類間のダイヤ調整により移動ができるようになりました。これの周知というかアナウンスはどのようにされているのでしょうか。以前からこの区間は公共交通が無いことから、1台の車を七類に置いてから乗船していた次第です。私が見落とししているかもしれませんが、バスで移動できるということが、うまくアナウンスされているのでしょうか。コミュニティバスの利用が少ないという実態もありますので、周知をしていただき利用促進を図っていただきたいと思います。

#### 【佐藤交通企画係長】

隠岐汽船の件ですが、美保関コミュニティバス境港線の休日ダイヤの改正により、接続改善を行いました。隠岐汽船とも協議を行い現在、周知を図っていただいているところです。

#### 【新宮委員】

今まで接続するバスがなかったことから喜んでるところです。ただ、乗り換えの問題とか、入港してからすぐ移動できないとか、時間がかかることがありますので、お客様の問い合わせに対して説明をさせていただいているところですが、すぐに移動したい方が多く、宇井のほうで乗り換え

して七類に行かなければならないということがあります。せっかくできたダイヤですが、利用促進にうまくつながっていないのが現状です。ただ、タクシーを考えれば利用料金は安く済みますので、引き続き周知を図っていきたいと思います。

**【飯野会長】**

そういう便があるということを HP やいろいろな場面で告知していただきたいと思います。七類から松江に行く直行バスはありますが、それ以外にコミュニティバスを使って松江に行くこともできます。乗り継ぎが生じるため接続がうまくいく保障がないことから周知ができていません。やはり情報提供ということは非常に大事なことです。引き続きよろしく願いいたします。

**【折田代理】**

一市民として感じたことを話させていただきます。スマートフォンを利用して運行情報が分かるがあります。私の住んでいる南平台は通勤時の 7 時台に 1 便しかバスが来ません。吹雪の時など乗り遅れると 30 分、1 時間待ちすることが何回もあります。特に高齢者の方はバスがまだ来ないのか行ってしまったのか分からないこともあります。駅にはバスの運行状況が表示されています。そういうのを駅だけじゃなくて、人が少ないところにつけた方が住民のためにはいいのではと思います。高齢者はスマホも使えませんのでそういうことも考えていただけたらと思います。

**【石津バス交通係長】**

バスロケーションシステムについては、事業者の選定を行ったところです。今後導入に向けて詰めていくところです。表示機については基本的に今ある駅を考えています。市内には 50 箇所ほど表示板が設置されていますが、屋外に設置されているため修繕など維持が大変になってきます。費用面等も考え、できるだけ集約することとしています。

言われるようにスマートフォンについては高齢者の方が自分でアドレスを打ち込んだり、自分で検索してたどり着くことは難しいと思います。最初にアプリケーションを登録していただければ、あとはカメラをかざせば自動で画面が開くような簡単な仕組みにより、できるだけ利用しやすいものを取り入れたいと考えています。

**【飯野会長】**

先ほど貴重な意見もいただきました。予算的な面などいろいろ制約もあると思いますが、より使いやすいシステムになるよう期待しています。

**協議事項(1) 2019 年度の取り組みについて**

**【飯野会長】**

続いて、「協議事項(1)2019 年度の取り組みについて」事務局より説明をお願いします。

**【石津バス交通係長】**

2019 年度の取り組みについて資料 3 を基に説明。

**【飯野会長】**

事務局から2019年度の取り組みについての説明がありましたが、皆さんからご質問、ご意見があればお願いします。私からですが、バスの乗り方のマナーの問題として議論になるのが優先席の考え方です。ドライバーにするとできるだけ座ってもらうのが車内事故防止になるのですが、中には優先席に若い人とか、見るからに優先すべきだろうかという人がいると、優先席の意味が分かっているのかとスマホでつぶやいたりしてよく議論になります。

そういうことを松江の街ではきちんと説明したうえで、乗客が混んでいなければ、車内事故を防止するために優先席を有効活用しましょう。もし介護が必要な方が乗車できれば譲りましょう。と言うように、ひとつひとつ地域のマナーとして始めてみようと、誰かが声を出さないと、いつまでたっても議論が続くことになります。

松江の街のルールはこうなんだということをこの市民会議から伝えられたらと考えます。行政や事業者からの提案となると、それに対して押し付け感みたいに取り立てられます。市民会議において市民が一緒になって議論した上で、松江のルールにしてみませんか。これが松江のマナーというのをやりたいと思います。

附属小学校の生徒がランドセルを背負ったまま座席に座ります。そうするとランドセル分だけ体が前に出ます。すると通路が狭くなってしまいます。そういう場合にはランドセルは座ったら前に抱え込む、これは都会では満員電車に乗ったらリュックサックを抱え直しましょう。というのと同じことです。そういう利用者に対する配慮ということと一緒に学びましょうと言っています。それと車内事故をできるだけなくしましょうということも含めて、松江ルールみたいなものを作りたいと思っています。

**【折田代理】**

私は全国いろいろと出かけて電車やバスで移動しますが、松江は非常にいいですよ。乗ってがっかりすることはあまりない。広島では特に外国人のマナーはひどいです。インバウンド、インバウンドと言いますが、そういったマナー的なことを優先してやるべきだと思います。私は松江では安心して乗車できると感じています。

**【飯野会長】**

松江も外国人の観光客を増やしていこうとしていますが、やはり日本はマナーを大事にする国ですよ、というメッセージを伝えていけたらと思います。

**【須山歴史まちづくり部長】**

海外での優先席の状況が分かりますでしょうか。

**【飯野会長】**

国によってそれぞれだと思いますが、イギリス、フランス、イタリアなどは何も言わなくても席を譲ります。何故かというと、日本のように障がい者の方が遠慮してバスや電車に乗らない、そういったことはありません。お互いが迷惑を掛け合うことは当たり前だと感じているからだだと思います。公共交通でも普通に自転車を積んだりするのを乗客の方は待っています。日本では疑問に思う

ことが当たり前のことなんです。

**【須山歴史まちづくり部長】**

あえて優先席という考え方をしなくてもそういう状況にあるということでしょうか

**【飯野会長】**

やっている国もありますが、無い国のほうが多いです。教育の問題だと思います。色々な人たちと共生していくという考え方が強いのだと思います。そういう考えを松江でも取り入れられたらいいなと思います。国の方で優先席のあり方や、どうやって広報していこうとか周知、教育していこうという動きがあればお願いします。

**【鬼村代理】**

そういった動きは特にありません。小学生を対象としたバスの乗り方教室とか、交通施設のバリアフリー化などはありますが、それ以外では特にありません。インバウンドに関しても特に聞いてはいません。

**【村松委員】**

車内事故というのは実際にどのくらい起こるもののでしょうか。ケガの度合いとかどのような状況でしょうか。

**【藤原委員】**

大きなケガになっていませんが、車内事故は生じています。ドライブレコーダーが付いていて確認するのですが「発車します」とか「止まってからお立ちください」と乗務員は言っているのですが、言った後に席を立たれ、ブレーキを踏んだことにより、転ばれるケースもあります。

満員の場合、発車しますのでおつかまりくださいと案内しますが、発車と同時に動かれて転ばれることもありました。若い方は転ばれても大丈夫な場合もあるわけですが、最近は全国どこかで毎週のように、骨折などの重大事故情報が入ってきます。乗務員については発車する前に「発車します」のアナウンス、以前は「止まってからお立ち下さい」というアナウンスでしたが「扉が開いてからお立ちください」というふうに変えています。

バス停が近づくと高齢者の方は立ち上がられます。止まった後に後ろに転ばれることもあります。乗務員に対してはバス停と勘違いしない案内を行うようにもしています。特に駅では朝渋滞し連続して入ることもあります。前のバスが乗降で停車したため停止した場合、到着と間違えられるケースなどもあります。乗客の皆様には、停車して扉が開いてから降りていただかないと重大事故につながることもあります。事故が起きますと警察の現場検証などほかの乗客の皆様にも迷惑になります。大きな事故にはなっていませんが、乗車の際に足が絡まって転ばれ、救急車を呼んだ事例もありました。まったく事故が無いということはありません。

このようなことを無くすため7月1か月間は車内事故防止キャンペーンを行います。それから各バス会社間が連携し、他社のバスに乗車して運行状況の点検を実施することとしています。

### 【佐々木和委員】

本日の出席者の中で、私が最初に免許を返納することになると思います。この1ヶ月、毎日のように高齢者の自動車事故が報道されています。私は来年免許の切り替えになるものですから、どうしたらいいか家族に話したところ、それは人に聞くものではなく、自分が返納して自立できるならば返納すればいいと言われました。

この間から私は自立の前段の助走を始めました。10日ほど前から市役所、福祉センターなどに行っています。自分の住んでいる雑賀町から駅まで15分掛けていきます。どのバスに乗ればいいのかキョロキョロしていると、同世代のご婦人から見るに見かねて「どこに行かれますか？」と声を掛けていただきました。「それは○番乗り場からですよ。」と教えていただき、何とか行くことができました。

観光協会で時刻表をいただきましたので、自分の行き先に付箋をつけたり赤ペンを入れたりといったことをしています。また、川津の方の歯医者にも行きます。大橋川をはさんで南側から北側へ行くことは、よその街に行くようなものです。どこで降りていいのか分からなくてタクシーで行きました。歯科衛生士さんから「今日はタクシーで来られましたか？」と言われました。帰りはどうしようかと思いましたが、歯科衛生士さんに駅までの時刻表と乗り方を教えていただきました。

高齢者の寄り合いの中では、返納したい女性が多くいます。私は返納してからバスに乗ってはだめだよ。バスの乗り方が解ったうえで返納しようという話をしています。バスカードをどこで買ったらいいか分からないでいたら、バスの運転手さんに言えば買えると教えていただきました。そのようなことから、返納してからでは困ることが多くあります。そういうことを教えていただくといいなと思っています。

以前の私は、運転者の視点でバスを見ていました。まだ発車しない、高齢者の方がいるからだ、自分が年寄りだということを忘れてそんなことを思っていました。今度は自分でバスに乗ってみました。運転手さんの親切さに驚きました。市役所に近づくと立ち上がりそうになりましたが、運転手さんが「停車してからお立ちください。」ときちんと言われます。何回もバスに乗車しますが、どの運転手さんも丁寧に対応されます。先ほど事故があると言われたが、本当だろうかと思いました。そのようなことを助走している間に感じましたので、お話しさせていただきました。

### 【飯野会長】

やっぱり返納してから慌てるのではなく、返納を考えるのであるならば、事前に少しずつ訓練する必要があります。バスの乗り方教室をやっていますが、「返納を考えられている皆様向けの講座」ということで行うのも面白いと思います。

先ほどの車内事故についてですが、事故を起こすとドライバーに対して一定のペナルティーが科せられます。一定の期間、車を動かさない罰則規定が出てきます。その間、人のやりくりが大変になります。1件の事故がそれだけで済まず、社会的な影響も出るようになります。そういうことも踏まえて、車内事故は起こさせないようにすることが大事です。

そのためにもドライバーが急ブレーキを踏まなくてもいいように、他の一般車両に対しても啓発活動する必要があります。これは警察にもご協力いただきたいことですし、この委員会のメンバーではないのですが、自動車会社の方に対しても運転するときは、公共交通機関が優先であること、一般ドライバーのマナー啓発を行っていただくことも大事だと思います。

## 協議事項(2) うちわプロジェクトについて

### 【飯野会長】

続いて、「協議事項(2) うちわプロジェクトについて」事務局より説明をお願いします

### 【佐藤交通企画係長】

うちわプロジェクトについて資料4を基に説明。

### 【飯野会長】

うちわプロジェクト、今更やらないという選択肢はないと思います。これを有効に多くの市民の皆様のご協力を得ながら進めていく必要があると思います。設置するバスはレイクライン、ターミナルは美保関と八雲の2か所ですか、通常のバスには設置しないのですね。今年ほどのくらい調達できそうですか。

### 【佐藤交通企画係長】

車内へ設置する場所の問題がありますのでレイクラインだけということにしています。現在準備を進めているところですが、昨年以上の数を確保できる見通しです。島根県では現在、作成中である部署があることが分かりましたので、そのようなところからも調達したいと思います。

### 【飯野会長】

できれば、どういう事業者さんが協力して下さったというのが、わかるような形にさせていただくと、提供していただいたところへのお返しができると思います。

### 【佐藤交通企画係長】

PRをしっかりとさせていただいて、ご提供頂いた企業様をご紹介できるようにしたいと思います。

## 協議事項(3) 令和元年度(第11回)松江市一斉ノーマイカーウィークについて

### 【飯野会長】

続いて、「協議事項(3) 令和元年度(第11回)松江市一斉ノーマイカーウィークについて」事務局より説明をお願いします。

### 【佐藤交通企画係長】

松江市一斉ノーマイカーウィークについて資料5を基に説明。

### 【飯野会長】

より詳しい中身につきましては、8月の後半になると思いますが、第2回の市民会議の席上で皆様にご提案することになると思います。今年もこういう形で実施するというのと、いい取り組みを行った事業所の事例を真似て結果を出していただきたいことから、優良事例を募集するということが今回新しい取り組みとなるということです。皆さんから意見はありませんか。

**【勝部委員】**

今まで気づいてなかったのですが、島根県も主催者になっています。県職員の方も随分マイカー通勤されている方がいらっしゃいます。県庁周辺駐車場が一杯です。市の職員さんはこうして調査されているわけですが、島根県ではそういうことをされてないのでしょうか。

**【佐藤交通企画係長】**

島根県につきましてもこの取り組みを積極的に協力いただいているところです。手元に参加率は持ち合わせていませんが、大変頑張っているところなんです。近くに止めている駐車場については、通勤距離の規制があり、その規制を超えた遠方の方が止めておられると伺っております。

**【勝部委員】**

周辺には駐車場がいくつかありますので、近くの方でも止められるケースもあるかと思えます。島根県も協力しているということであれば、公務員ですので趣旨に乗っ取れば、何パーセントの参加率であったという情報があつた方がいいと思います。

**【飯野会長】**

この市民会議のメンバーにどういう人に集まってもらうか、というときに島根県の交通対策、交通政策の係に入っていただきたいという打診はしています。ただまだ、実現しておりません。引き続き打診をこの会として行っていきたいと思っています。

**【秦代理】**

先ほどノーマイカーウィークの参加事業者が少し減ったという報告がありました。みんなで取り組んでいかねばならないと思っていますが、減った原因はどのようなことだったか分かりますか。

**【佐藤交通企画係長】**

客観的なことを言いますと、昨年度の参加事業所数は136でした。その前の年が150でございまして14の減となります。人数は延べ3900人ということで昨年より200人少なくなっています。その前の年が一番多い年でございました。

これまで10回のノーマイカーウィークを実施したわけですが、10回の中で昨年度の参加事業所数は3番目になります。参加者数も過去2番目となります。前年度とその前の年と何が違ったかといいますと、取り組み期間が違ってきます。その前の年までは9月21日から30日までの10日間を設定していました。この期間は全国交通安全運動週間と同じスケジュールでした。第4回から9回まではその期間で実施してきましたが、その期間はまだ暑い日が続いていたことや、他のイベントとの組み合わせに難しいところがあると感じていました。

昨年からは10月中旬、一週間期間を減らしましたがそのように変更いたしました。まだ変えたばかりですので原因は解りませんが、期間が短くなったこともあります。また、期間を動かしたということもあり、まだ浸透が図られていないこともあると思います。今年度も10月にしっかりやってみて検証したいと考えます。

**【飯野会長】**

我々も議論したのですが、これという原因は解りませんでした。期間を変えたことが関係しているとするれば、事業所の皆さんの参加しやすい時期に実施することが、将来的に多くの皆さんが自家用車から他の交通手段に移ってもらえる大きな要素のなるのではと思います。これから先も事業所の皆さんが参加しやすい環境を目指していくことが大事だと思います。この市民会議としましても協力して取り組んでいきたいと思っています。

**5. その他**

次にその他についてですが、事務局からありますでしょうか。

**【石津バス交通係長】**

本日、一畑電車様から配布物の追加がございます。内容について紹介をお願いいたします。

**【山崎委員】**

例年この時期にPRさせていただいております。恒例となりましたビール電車「酔電」を今年も配布資料の通り運行いたします。昨年はこの市民会議でもご利用いただきました。昨年は予想しない事故がおきまして途中で運行を中止するという事態があり、ご迷惑をおかけいたしました。今年7月20日と8月24日は定期運行を行います。それ以外の日でも貸切が可能ですので、ご検討いただき、ぜひご利用をお願いします。

**【飯野会長】**

皆様もチラシを職場に持ち帰っていただきPRしていただきたいと思っています。

**【藤原委員】**

最初に飯野会長から交通局の合庁～川津・平成NT線が大きく減少していますが、その理由が分かりますかという質問がございました。冬季に天気が良く、雪も少なくチェーンをかけることもありませんでした。それが一番の原因だと思います。

合庁線ですと川津から県庁、市役所、古志原方面から県庁、市役所間で雪がありませんでした。安全面でもスリップ等の事故もなく良かったわけですが、天気が良かったためか、自転車とかの通勤なども要因であったかと思っています。

先ほど車内事故の話がありましたが、運転手が気を付けていても、完全に車内事故を防ぐことは難しく、利用される皆さんにご協力いただくことが大事となります。診断書が出ますと最低でも5点、点数によっては免停にもなります。バス祭りの際に、車内事故防止を啓発する映像の上映なども検討しているところです。8月3日、4日には水郷祭がございます。3日、土曜日については臨時バスを出す予定にしていますのでご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

**【飯野会長】**

それでは、以上で本日本日予定していた議題は全て終了しましたが、全体を通じて何かあればご発言

をお願いします。・・・・・・無いようですので進行を事務局へお返しします。

## 6. 閉会

### 【比田歴史まちづくり部次長】

飯野会長には、スムーズな議事進行をいただきありがとうございました。最後に須山部長がお礼のご挨拶をいたします。

### 【須山歴史まちづくり部長】

本日はありがとうございました。初めてこの会に出席させていただき、貴重な意見をたくさんいただきました。日頃から市の職員は、市民目線でいろんな事業に対し市民の立場はどうだろうかということを考えるようにしています。交通に関して市民会議を通じていろいろな声を聴くことは大変いいことだと思います。

先ほどバスロケーションシステムにおいても、どこに何を置くかということについて、こちらでは思いつかない別の視点からのご意見もいただきました。松江市では共創ということでいろいろな事業をやる前に意見を聞く、やっちゃってから、だめだったということにならないように、意見を聞いて一緒に作っていきましょうということを目指していますが、市の中でも全部が全部浸透しているわけではありません。せっかくこのような場がありますので、貴重な意見をたくさんいただけたらと思います。

最初のあいさつで言い忘れたことがございます。この市民会議で公共交通網形成計画の進捗管理をしていただきますのでよろしくお願いします、ということをお知らせしておりました。今次第を見ていて思いましたが、進捗管理を皆さんにお願いしておりながら、それが報告事項の中にあるということ、進捗状況についての報告ではあるのですが、これは全く協議事項であると思います。それが報告事項で終わっているということではなく、皆さんに協議いただいて進捗管理をすべきだと思ったところです。今後とも一緒にお話ができたらと思っています。今日はどうもありがとうございました。

### 【比田歴史まちづくり部次長】

それでは、以上をもちまして、令和元年度第1回松江市公共交通利用促進市民会議を閉会します。ありがとうございました。

## 6. 所管課等

松江市歴史まちづくり部交通政策課

電話 0852-55-5661